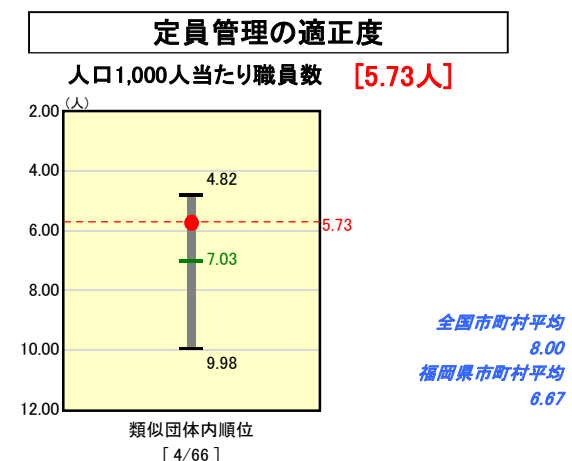
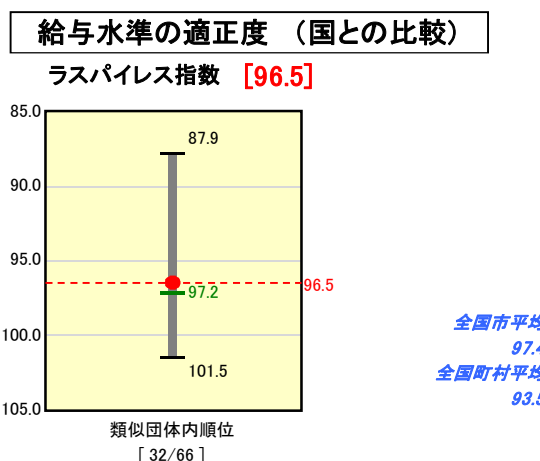
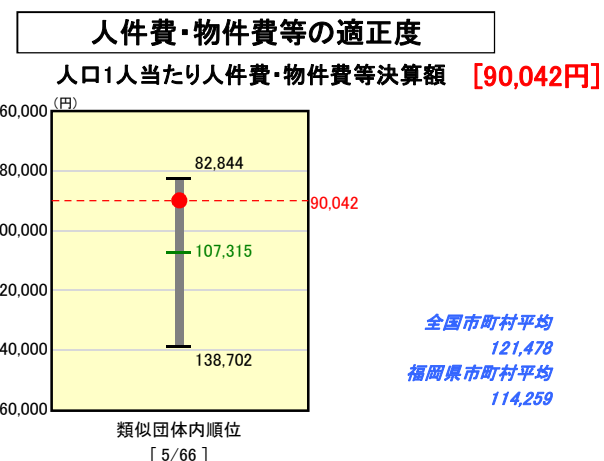
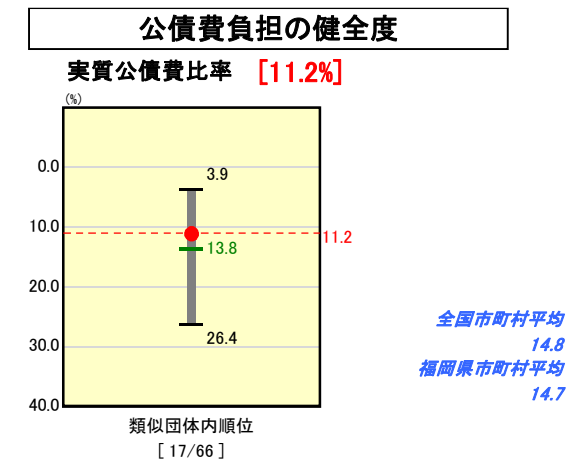
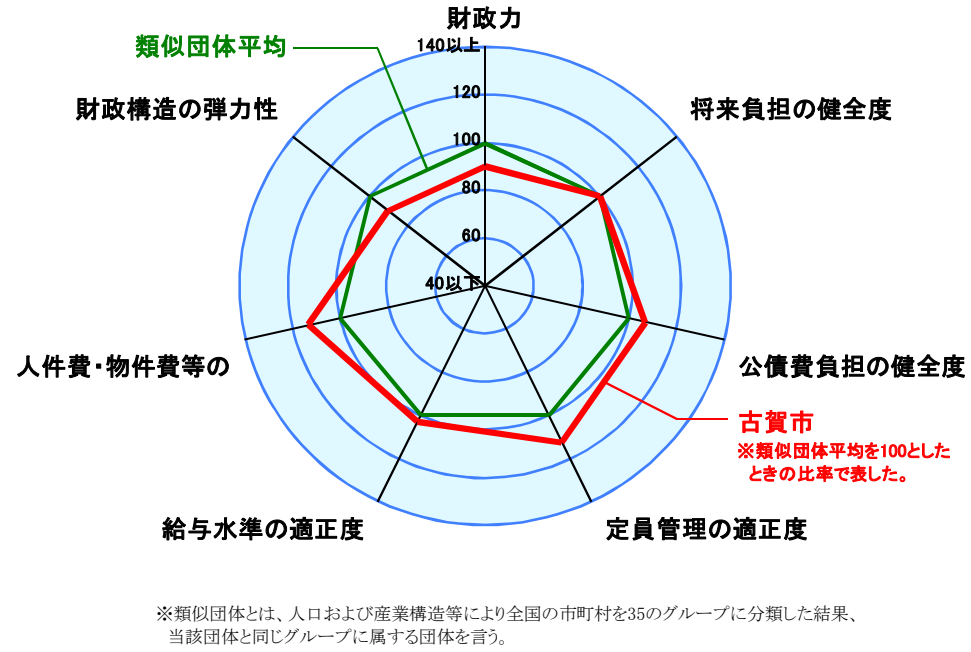
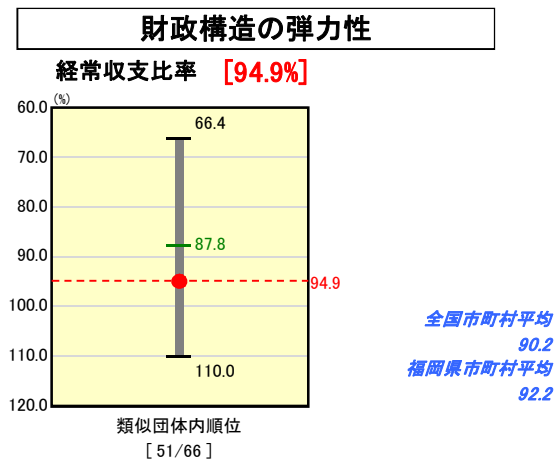
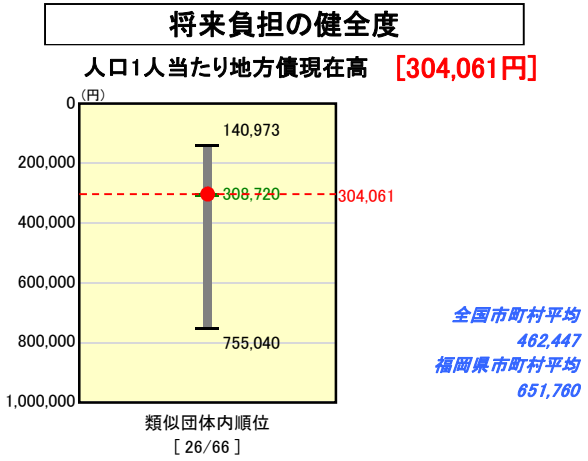
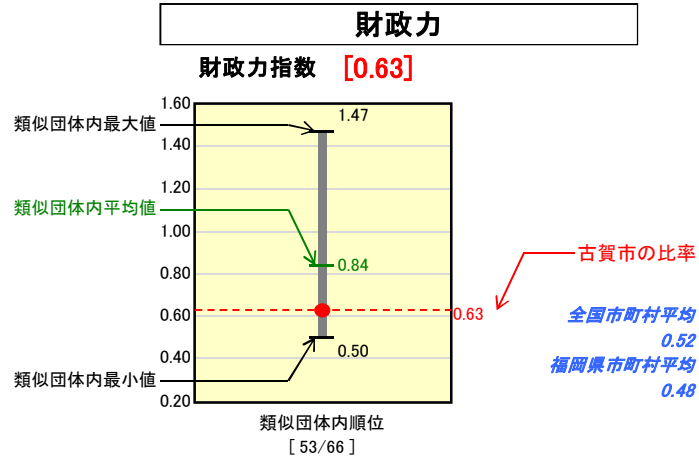


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 福岡県 古賀市

人口	56,355 人(H18.3.31現在)
面積	42.11 km <sup>2</sup>
歳入総額	16,239,405 千円
歳出総額	15,800,736 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

○財政力指数  
近年微増傾向であるが、類似団体の平均を下回っていることから、今後、事務・事業の再編・整理、廃止・統合を進めていき、真に必要な事務・事業を見極め、経営資源を有効に配分していくよう努める。また、近年の景気の低迷により、税等の徴収率を上げることが難しくなっていることから、平成16年度から徴収専門の課(収税課)を設置し、徴収強化に努めている。さらに、新たな税源確保として、企業誘致や税の適正化について再検討を行い、自主財源の確保に最大限努める。

○経常収支比率  
近年増加傾向であり、類似団体の平均を上回っていることから、現在導入している枠配分予算を継続的に行うことにより更なる歳出抑制に努めるとともに、平成17年度補助金等検討委員会提言に基づき、平成18年度から平成20年度までの間に各種団体に對して補助金の廃止・縮減を行う。

○人口1人当たり人件費・物件費等の決算額  
類似団体の平均を大きく下回っているが、今後とも民間委託等の推進、職員OB等の活用などにより退職者不補充による職員数の削減を図り、人件費・物件費総額の抑制に更に努める。

○人口1人当たり地方債現在高  
類似団体の平均を若干下回っており、近年は微減傾向にある。今後も投資的事業について一層精査することにより計画的な起債発行を行い、将来に亘る急激な負担増とならないように努める。

○実質公債費比率  
近年減少傾向にあり、類似団体の平均も下回っている。今後、市全体としての投資的事業について一層精査することにより起債発行の抑制に努め、今後も適正な水準確保に努める。

○人口1,000人当たり職員数  
近年減少傾向にあり、類似団体の平均も大きく下回っている。今後も事務・事業の再編・整理、民間委託等の推進、職員OB等の活用などにより退職者不補充による更なる職員数の削減を図り、平成22年4月1日における市の職員数を、平成17年4月1日時点から8%(31人)以上削減する予定である。

○給与体系の見直しを行い、適正化に努める。